

**平成30年度問題解決型分析研修  
(GC/MSを用いた水質試料中微量化学物質のスクリーニング) 実施要綱**

1. 目的

魚へい死等の水質事故発生時は、状況に応じた迅速な対応が必要であるが、原因物質の特定が困難なことが多い。本研修では、標準物質を使用せずに約1,000種の化学物質を迅速にスクリーニング可能な全自動同定・定量データベースシステム (AIQS)と網羅的固相抽出法による一次スクリーニング手法を習得し、水質事故時に適用可能なスクリーニング手法の確立に資することを目的とする。

2. 期間及び会場

(1)期間：平成31年1月30日(水) ～ 2月1日(金) (3日間)

(2)会場：環境調査研修所(合宿制)

〒359-0042 埼玉県所沢市並木3-3

TEL 04-2994-9766

3. 研修予定人員 1名

4. 研修を受ける資格

次の各号のいずれにも該当するものとする。

①環境分析業務を担当している職員で、使用する分析機器等に習熟している者または既に環境調査研修所の分析研修を修了した者

②研修受講に支障のない健康状態にある者

③所属長の推薦を受けた者

5. 研修生推薦の有無

所属長は、研修生を推薦する場合、推薦書に別紙様式による被推薦者の「略歴書」を添えて、**平成31年1月16日(水)までに必着**するよう環境調査研修所所長あて文書により通知すること。

なお、研修生を推薦しない場合においても、前記の推薦期限までにその旨を環境調査研修所所長あて文書により通知すること。

6. 研修生の決定

環境調査研修所所長は、5の推薦に基づいて研修生を決定の上、推薦者にその旨を通知する。

7. 修了証書の交付

環境調査研修所所長は所定の課程(原則として1割以上欠課した者を除く。)を受講した者に対して修了証書を交付する。

なお、受講の状態については、研修終了後所属長に通知する。

8. 経費

次の経費は所属長の負担とする。

(1)往復に必要な旅費

ただし、環境省の職員については、環境調査研修所から支給する。

(2)滞在費

\*次の情報を環境調査研修所ホームページに掲載していますので御参照ください。

(URL <http://www.neti.env.go.jp>)

「研修受講ガイドブック」(研修受講に当たっての留意事項に関する情報を掲載しています。)

[平成30年度問題解決型分析研修 (GC/MS による水質試料中微量化学物質のスクリーニング)  
教科内容]

1 実習	15.0 時間
・事前検討結果のまとめ	
・装置性能評価	
・試料の前処理・測定	
・AIQS を用いたデータ解析	
・データのまとめ	
2 その他 (開・閉講式、オリエンテーション、実習準備)	2.5 時間
	合計 17.5 時間

(注)

- 教科内容は、都合により一部変更になることがあります。
- 開講式は10時00分から行います。9時30分までに入所してください。
- 閉講式は15時45分に終了する予定ですが、時間の延長等により若干遅れる場合があります。